

### 第3回 定例ワールドカフェ 感想 (2022.2.3 現在)

話題提供：感染症看護専門看護師から見たコロナ禍における社会の課題と必要な啓発

提供者：久光由香さん

(近畿大学病院 安全管理部感染対策室 染症看護専門看護師)

当日参加者：7名

感想 (Google Form) 回答者：4名 (分野\_教育2名、医療2名)

- ・今日も参加させていただきありがとうございました。いろいろ勉強になります。今後も参加させてください。
- ・感染対策について病院の話が聞いたのがとても良かったです。本校は初めは生徒からコロナが出て一切情報を流さなかったのが、それはおかしいと何度も管理職に言いました。個人情報保護だから学校単位ではできないと…。そして昨年夏からやっと市全体でホームページに報告されることになりましたが、学年もクラスもクラブもわからない状況です。1月に学校保健委員会と言って、学校医と管理職含めて話す会議があるので、その場で情報を伝えることについて話を出そうと思います！今日はお忙しいところありがとうございました！最後の高校の先生の資料もとても参考になりました！交流もできて良かったです！
- ・オミクロン感染が拡大する中、感染に関する今後の対応について学ぶことができました。医療現場と学校教育現場における意識や問題の違い、周知していくことの難しさを話す機会となりました。様々な問題がある中で何を一番大切に考え行動するのか、組織や個人が試されていると感じます。このように色々な立場から問題を共有することで、みえてくる物もあり、解決策を見つける糸口に繋がるのではと感じました。貴重な講演ありがとうございました。
- ・感染力の強いオミクロンが拡大している中、「大変ですよ～」と大変でしょうに明るく悲壮な感じも出されずに情報を提供していただき、医療の最前線の専門家の空気を肌で感じることができました。公衆衛生学や疫学を学んだ医療者でも、情報の受け取り方や行動はそれぞれで、院内で決めたルールを守るために、ひたすら伝わるように伝えるというのを伺い、どれだけ医療や技術が進歩しても、最後は人と人とのアナログな関わりなんだなと妙に納得しました。医療現場でさえそうなんですから、発達段階がまちまちな子ども、理解や価値観がまちまちな親や教師が、自分と他者のために「考えて」行動するには、やはり民度の向上、教育や心のこもった支援の積み重ねが必要なんだなと感じました。日本は世界に誇れる民度だとテレビで言っていましたが、この良さを維持向上させる教育や支援が求められているんだと思いました。ありがとうございました。